第 133 回　稲門フィラテリー切手教室

2019.6.3

「地震と TSUNAMI」

登坂 宏

講師略歴 :

S18 年生まれ。郵趣活動は S47 年より、JPS 所沢支部 (現所沢郵趣会)、
JpS 関東地本理事、埼玉県郵趣連合会長を歴任。収集テーマ : 天気 , 地震、環境等自然現象。
H5 年 r 天気と観測」小倉譲賞、H18 年「地震と TSUNAMI」オープン切手展グランプリ。
北海道南西沖地震 (H5), 阪神震災 (H7)、スマトラ島沖地震 (H16) の報道をきっかけに取り組み。
郵趣晶以外のマテリアルでビジュアルに表現できることがオープン展の魅力。

作品紹介

タイトルページと展示プランページ

地震報告　８リーフ

税済郵便、M27 30 年

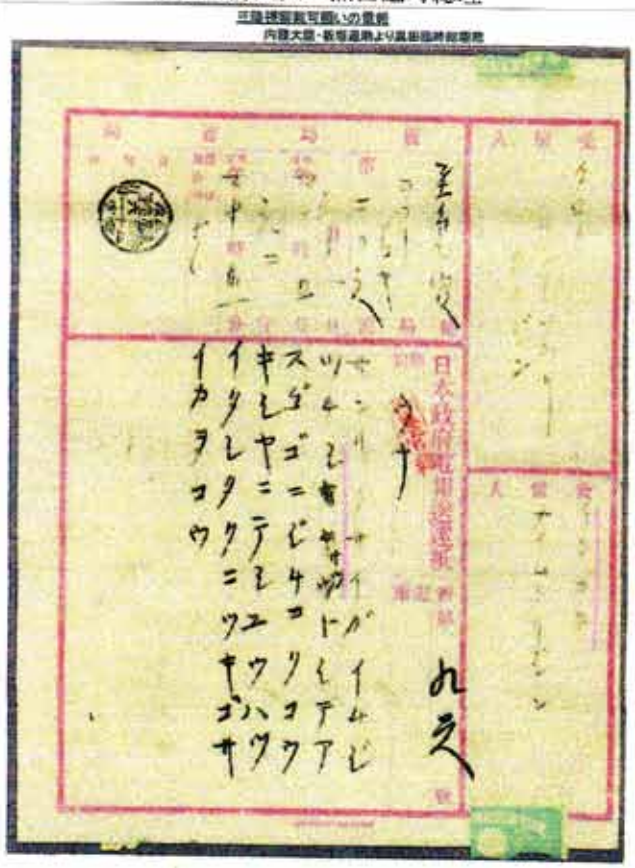
不発行切手　３４リーフ

皇太子結婚記念切手１１月発行予定

震災に伴う郵便の混乱

M29 年三陸津波電報　４８リーフ

板垣内務大臣→黒田臨時総理



関東震災　２７リーフ

火災強調・・・実は津波も５５，５６リーフ

☆地震予知は可能か VS 天気予報

何月何日何時頃

中国では生物異常行動で予知成功→偶然か？唐山地震では失敗。

☆ S51 年地震**予知**推進本部→**防災**対策に転換？

○毎年 4 月政府地震調査委員会震度 6 以上に見舞われる確率発表

東北地震も熊本地震も低い確率であった (推定方法に問題？過去の発生履歴ベースにしている〕

○中央防災会議、各都道府県 = 被害のシュミレーション　防災予算

☆何時起きるかわからない : 自分で守る

地震の備え

1, 耐震構造、重いものは頭上に置かない

地震がおきたら

1. 身を守り、揺れが収まったら火元に注意 ,

2. 海に近い住まいの人は高台に逃げる

この地震は陸地か沖合いか→地震おさまったで安心しない

→海岸や川筋に住まいの人は地震おさまったら高台へ避難

地震後即、数分後、10 分後、24 時間後

S35 年の地球裏側のチリ地震→ 24 時間後日本の太平洋沿岸に津波

・靴を履かず裸足で (青苗の津波で靴はきで遅れた人)

・三陸地方では「てんでん』の言い伝え…てんでんばらばらで逃げよ！

1 階は上の階が落ちてくる→寝室は 2 階、シエルターベッド

タンス。TV が走る→固定

震源地沖合いと闘いたら津波に涯意→高台に避難

防災ズキン　ヘルメット

ハンカチ　濡れタオル

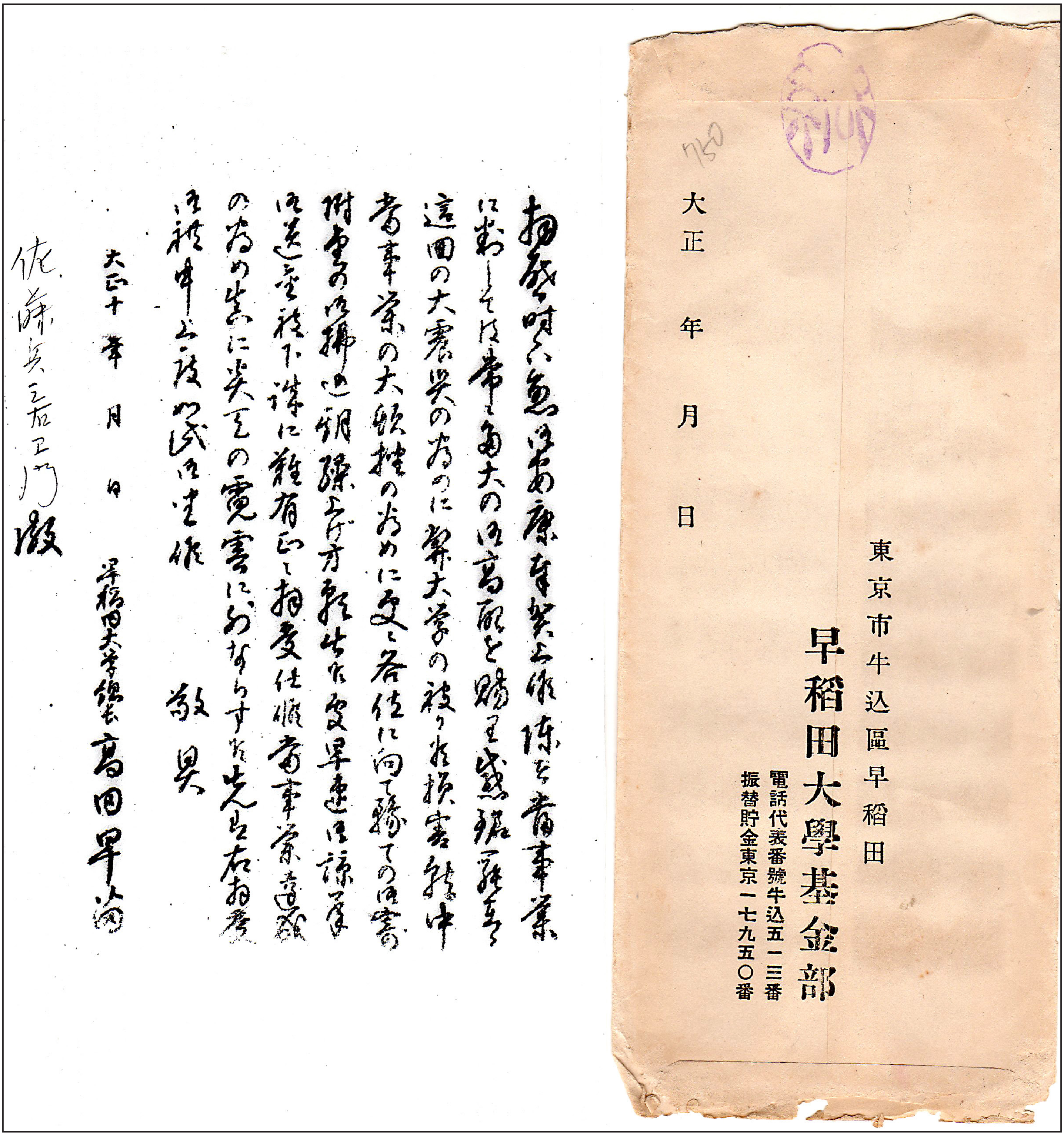
消火器　家庭備蓄水・食料

帰宅困難

家族の生活パターンの熟知

避難所、避難場所

『早稲田大学関東大震災復興寄付金払込み者への礼状』


拝啓時下益々御清康奉賀上候 陳者當事業
におゐては常々多大の御高配を賜り感銘罷在候
這回の大震災の為めに弊大学の被りたる損害甚中
當事業の大拡張のために更に各位に向て勝ての御寄
附金の御払込明瞭ならず方御依頼申上候処早速御諒承
御送金被下誠に難有拝受仕候 當事業遂成
のため尚ほ一層の御盡力におなからす先は右御禮
御礼申上度如此御座候 敬具

大正十 年 月 日 早稲田大学総長 高田早苗

佐藤兵三右衛門 殿